



# 自動車サイバーセキュリティ ハンズオントレーニング

SGSジャパン株式会社  
C&P Connectivity  
2025年2月10日



# サイバーセキュリティハンズオントレーニング

- ハンズオントレーニングでは、より実践的なトレーニングを目指し、座学に加え演習（エクササイズ）を準備しています。
- 実際に手を動かすことにより、このトレーニングでは実務に還元できる経験値をダイレクトに積むことができますので、今まさにサイバーセキュリティの対応が求められている方、あるいはこれから対応をしなければいけない方にとってすぐに役立つ内容となっております。
- については座学のみとなります。以降の前提条件の理解のためのコースとなります。必ずしも以降のために①を受講いただく必要はありません。
- については確認テストに合格しますと「受講証明書」を発行いたします。  
(試験料：税込み5,500円)

コース	時間	費用(税込)	日程
規格概要/セキュリティマネジメント	0.5日	¥44,000	5/15(木) 13:30-17:00
TARA演習	1.0日	¥66,000	5/16(金) 9:00-17:00
CS監査員	0.5日	¥44,000	5/21(水) 13:30-17:00
CSアセッサ	0.5日	¥44,000	5/22(木) 13:30-17:00
PSIRT演習	1.0日	¥66,000	5/23(金) 9:00-17:00



## 規格概要/セキュリティマネジメント

### <狙いと目的>

- サイバーセキュリティプロセスの動向や概要について理解する。
- 国連法規「サイバーセキュリティ：UN-R155,ソフトウェアアップデート：UN-R156」の概要を理解する
- 自動車用セキュリティ標準「ISO/SAE 21434」の概要を理解する。
- 自動車セキュリティの法規、標準に適合したサイバーセキュリティプロセス構築の考え方を知る。

# TARA演習

## <狙いと目的>

- サイバーセキュリティ開発でポイントとなる脅威分析・リスクアセスメント、サイバーセキュリティゴール、サイバーセキュリティ要求、脆弱性分析の一連の作業を演習を通じて理解する

## <アジェンダ>

- 規格解説：コンセプトフェーズ（90分）
- 演習1：脅威分析及びリスクアセスメント（120分）
- 規格解説：製品開発（30分）
- 演習2：システムレベルの脆弱性分析（60分）
- 演習3：ソフトウェアレベルの脆弱性分析（60分）
- 演習4：ハードウェアレベルの脆弱性分析（60分）

## <前提条件>

- ISO/SAE 21434 の規格要件を理解していること  
（推奨コース： ISO/SAE 21434規格概要）

# CS監査員

## <狙いと目的>

- UN-R155視点とISO/SAE 21434視点によるCS監査の考え方を理解する
- 演習に基づき、CS監査の勘所を理解する

## <アジェンダ>

- ISO/SAE 21434、ISO 24089におけるCS監査の位置づけ（90分）
- CS監査の役割分担とタイミング、手順（30分）
- CS監査を実施する上でのポイント（30分）  
（VDA CSMS監査ガイドライン、ISO/PAS 5112参照）
- 演習：CS監査チェックリストの作成（60分）

## <前提条件>

- ISO/SAE 21434、ISO 24089、UN-R155/R156の規格の要件を理解していること  
（推奨コース： ISO/SAE 21434規格概要）

# CSアセッサ

## <狙いと目的>

- ISO/SAE 21434視点によるCSアセスメントの考え方を理解する
- 演習に基づき、CSアセスメントの勘所を理解する

## <アジェンダ>

- ISO/SAE21434におけるCSアセスメントの位置づけ（60分）
- CSアセスメントの役割分担とタイミング、手順（30分）
- CSアセスメントを実施する上でのポイントと事例（60分）
- 演習：指摘事項の洗い出し（60分）

## <前提条件>

- ISO/SAE 21434の規格の要件を理解していること  
（推奨コース： ISO/SAE21434規格概要）

# PSIRT演習

## <狙いと目的>

- サイバーセキュリティ保守でポイントとなるサイバーセキュリティイベント評価、脆弱性分析、脆弱性管理、インシデント対応の一連の作業を演習を通じて理解する

## <アジェンダ>

- セット (150分)
  - 座学：サイバーセキュリティイベント評価
  - 演習0 (サイバーセキュリティ情報監視)
  - 演習1 (ウィークネスの特定)
- セット (150分)
  - 座学：脆弱性分析
  - 演習2 (攻撃経路分析)
- セット (120分)
  - 座学：脆弱性管理
  - 演習3 (サイバーセキュリティインシデント対応)

## <前提条件>

- ISO/SAE 21434、UN-R155の規格の要件を理解していること  
(推奨コース： ISO/SAE 21434規格概要)



# Thank you!

Do you have any questions?

[jp.fsafety@sgs.com](mailto:jp.fsafety@sgs.com)

050-3773-4508

<http://safety-testing.jp/sgs/>

